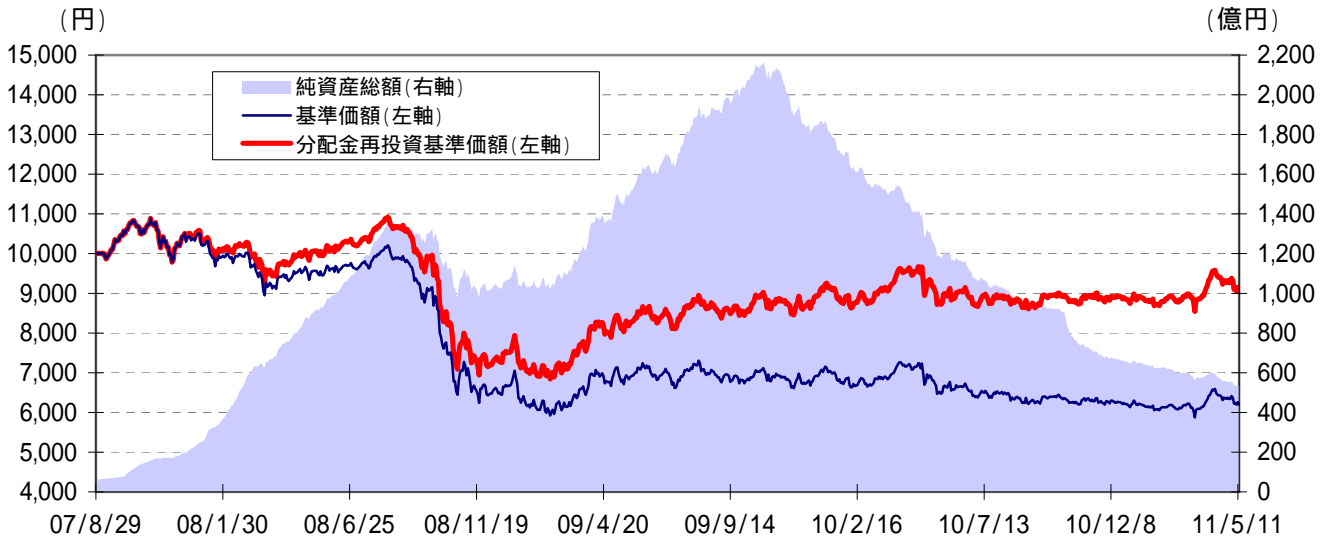


新興国債オープン(毎月決算型)(愛称 アトラス(毎月決算型))

追加型投信 / 海外 / 債券

設定来の基準価額の推移



上記のグラフの基準価額は1万口当たり、年1.365%(税抜1.30%)の信託報酬控除後です。

基準価額は、設定日前営業日を1万口当たりの当初設定元本として掲載しております。

分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	6,194 円
純資産総額	530.4 億円

基準価額は1万口当たりです。

ポートフォリオ構成比率	
株式	0.0%
(内国内株式)	(0.0%)
(内外国株式)	(0.0%)
(内先物)	(0.0%)
公社債	93.2%
(内国内公社債)	(0.0%)
(内外国公社債)	(93.2%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	6.8%
マザーファンド組入比率	99.4%
組入銘柄数	26銘柄

「マザーファンド組入比率」以外の比率は、マザーファンドを通じた実質比率です。

騰落率

	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	▲3.84%	2.93%	1.99%	▲1.48%	▲7.22%	▲8.82%
参考指数	▲3.83%	3.53%	2.77%	1.27%	2.53%	4.03%

騰落率は、1カ月前、3カ月前、6カ月前、1年前、3年前の各月の12日(休業日の場合は翌営業日)、および設定日との比較です。小数点第3位で四捨五入しております。

分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。また、参考指数の設定来騰落率は、設定日前営業日の現地終値との比較です。

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、「GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット)ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)」を参考指数としております。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

指数の騰落率は、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。

設定来分配金合計	2,840 円
----------	---------

過去1年間の分配実績

(1万口当たり・税引前)

決算日	分配金	決算日	分配金	決算日	分配金
2010/06/14	60円	2010/10/12	40円	2011/02/14	40円
2010/07/12	60円	2010/11/12	40円	2011/03/14	40円
2010/08/12	60円	2010/12/13	40円	2011/04/12	40円
2010/09/13	60円	2011/01/12	40円	2011/05/12	40円

分配金(税引前)は1万口当たりです。

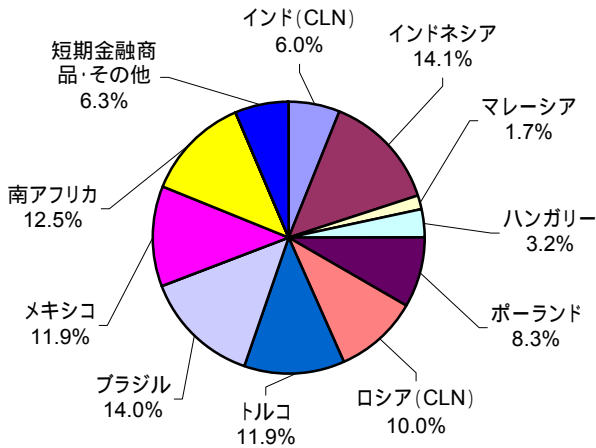
毎月12日(休業日に該当する場合は翌営業日)に決算を行い、主として配当等収益等から収益分配を行います。運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

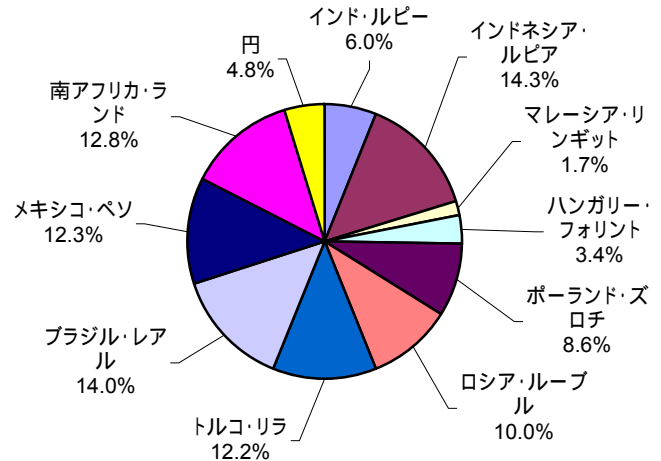
追加型投信 / 海外 / 債券

マザーファンドの組入状況

< 国別構成比率 > (投資国数: 10カ国)

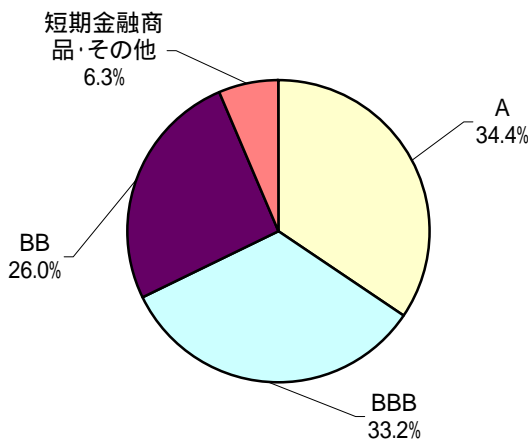


< 通貨別構成比率 > (投資通貨数: 10通貨)



数値は四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
クレジット・リンク・ノート(CLN)は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券で、発行体は指定格付機関から原則としてA格以上の格付を有している金融機関です。クレジット・リンク・ノート(CLN)は、ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて上記の分類を行っています。
国別構成における「短期金融商品・その他」と通貨別構成における「円」に関しては、投資国数および投資通貨数から除いています。「短期金融商品・その他」には、保有債券の未収利息が含まれます。

< ポートフォリオの格付別構成比率 >



ポートフォリオ構成比率	
組入銘柄数	26銘柄
債券組入比率	93.7%
短期金融商品・その他	6.3%

ポートフォリオ特性	
ファンド全体のデュレーション	1.70年
保有債券の平均最終利回り	6.88%
保有債券の平均直接利回り	10.10%

格付別構成の分類にあたっては、作成基準日現在のS & P社およびMoody s社の格付の高い方を採用し、表記はS & Pに準じています。
クレジット・リンク・ノート(CLN)は、取得コスト等の理由から格付を取得していませんので、連動先債券の格付情報に基づいて上記の分類を行っています。

クレジット・リンク・ノート(CLN)の米ドルベースの利息収入は、現地通貨の対米ドルレートにより変動します。このため、上記のデータ算出にあたっては、取得時の現地通貨の対米ドルレート、連動先債券の価格情報に基づいて行っています。

新興国国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))

追加型投信 / 海外 / 債券

組入債券明細表 (新興国国債マザーファンド)

国債

国名	通貨名	銘柄名	利率 (%)	償還日	数量 (額面)	投資比率 (%)	S&P	Moody's
インドネシア	インドネシア・ルピア	INDONESIA RECAP	13.450	2011/08/15	50,000,000,000	0.9	BB+	Ba1
インドネシア	インドネシア・ルピア	INDONESIA GOVT	12.000	2011/09/15	320,000,000,000	5.9	BB+	Ba1
インドネシア	インドネシア・ルピア	INDONESIA GOVT	10.000	2011/10/15	90,000,000,000	1.7	BB+	Ba1
インドネシア	インドネシア・ルピア	INDONESIA RECAP	14.250	2013/06/15	85,000,000,000	1.8	BB+	Ba1
インドネシア	インドネシア・ルピア	INDONESIA GOVT	11.000	2014/10/15	186,000,000,000	3.8	BB+	Ba1
マレーシア	マレーシア・リンギット	MARAYSIAN GOVT	3.833	2011/09/28	16,000,000	0.8	A+	A3
マレーシア	マレーシア・リンギット	MARAYSIAN GOVT	3.718	2012/06/15	16,000,000	0.8	A+	A3
ハンガリー	ハンガリー・フォリント	HUNGARY GOVT	7.250	2012/06/12	1,800,000,000	1.5	BBB-	Baa3
ハンガリー	ハンガリー・フォリント	HUNGARY GOVT	8.000	2015/02/12	2,000,000,000	1.7	BBB-	Baa3
ポーランド	ポーランド・ズロチ	POLAND GOVT	5.250	2013/04/25	15,000,000	0.8	A	A2
ポーランド	ポーランド・ズロチ	POLAND GOVT	6.250	2015/10/24	61,000,000	3.5	A	A2
ポーランド	ポーランド・ズロチ	POLAND GOVT	5.500	2019/10/25	74,000,000	4.0	A	A2
トルコ	トルコ・リラ	TURKEY GOVT	16.000	2012/03/07	83,000,000	8.5	BB+	Ba2
トルコ	トルコ・リラ	TURKEY GOVT	14.000	2012/09/26	33,000,000	3.4	BB+	Ba2
ブラジル	ブラジル・レアル	LETRA TESOURO	0.000	2011/07/01	60,000,000	5.6	BBB+	Baa3
ブラジル	ブラジル・レアル	LETRA TESOURO	0.000	2011/10/01	92,000,000	8.4	BBB+	Baa3
メキシコ	メキシコ・ペソ	MEXICAN FIXED RATE	10.500	2011/07/14	130,000,000	1.7	A	Baa1
メキシコ	メキシコ・ペソ	MEXICAN FIXED RATE	9.500	2014/12/18	280,000,000	4.1	A	Baa1
メキシコ	メキシコ・ペソ	MEXICAN FIXED RATE	7.750	2017/12/14	200,000,000	2.8	A	Baa1
メキシコ	メキシコ・ペソ	MEXICAN FIXED RATE	8.000	2020/06/11	240,000,000	3.4	A	Baa1
南アフリカ	南アフリカ・ランド	REP SOUTH AFRICA	13.000	2011/08/31	254,000,000	5.8	A	A3
南アフリカ	南アフリカ・ランド	REP SOUTH AFRICA	13.500	2015/09/15	250,000,000	6.8	A	A3

クレジット・リンク・ノート

国名	通貨名	銘柄名	利率 (%)	償還日	数量 (額面)	投資比率 (%)	S&P	Moody's
インド	インド・ルピー	UBS(INR CLN)	-	2012/05/08	21,444,488	3.1	BBB-	Ba1
インド	インド・ルピー	UBS(INR CLN)	-	2012/09/14	20,000,000	2.9	BBB-	Ba1
ロシア	ロシア・ルーブル	UBS(RUB CLN)	-	2012/01/20	24,312,074	4.4	BBB+	Baa1
ロシア	ロシア・ルーブル	HSBC(RUB CLN)	-	2013/04/02	30,444,717	5.6	BBB+	Baa1

(注) 投資比率はすべてマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

格付は作成基準日現在です。

クレジット・リンク・ノート (CLN) の国、通貨、格付に関しては、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の情報に基づいて上記の表示を行っています。また、利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「-」と表示しています。なお、クレジット・リンク・ノート (CLN) の数量 (額面) に関しては、米ドルで表示しています。

クレジット・リンク・ノート (CLN) は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。作成基準日現在の発行体は、UBS AG (A+, Aa3)、HSBC Bank plc (AA, Aa2) です (カッコ内は、作成基準日現在の S&P、Moody's の格付)。

格付は当該日の現地前営業日を基準に掲載しています。

新興国国債オープン(毎月決算型)(愛称 アトラス(毎月決算型))

追加型投信/海外/債券

主要投資対象国の債券利回り(%)

発行国	設定日	前期末	当期末	設定日との比較	前作成基準日との比較
	2007/8/30	2011/4/12	2011/5/12		
インド	7.98	8.09	8.38	0.40	0.29
インドネシア	9.93	8.24	8.20	▲ 1.73	▲ 0.04
マレーシア	3.76	3.79	3.72	▲ 0.04	▲ 0.07
ハンガリー	6.94	6.67	6.67	▲ 0.27	0.00
ポーランド	5.66	5.75	5.66	0.00	▲ 0.09
ロシア	6.00	6.40	6.69	0.69	0.29
トルコ	17.79	8.95	8.93	▲ 8.86	▲ 0.02
ブラジル	11.67	12.58	12.23	0.56	▲ 0.35
メキシコ	7.78	7.38	7.15	▲ 0.63	▲ 0.23
南アフリカ	8.44	8.37	8.29	▲ 0.15	▲ 0.08

各国の債券利回りは、「GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット)ブロード・ディバースファイド指数」の情報に基づくため、償還年限は国ごとに異なります。また、当ファンドが実際に投資している債券の利回りとは異なります。なお、各利回りとも該当日の前営業日のデータを使用しています。

(出所: Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成)

主要為替レートの状況(対円)

通貨名	設定日	前期末	当期末	設定来騰落率	前期比騰落率
	2007/8/30	2011/4/12	2011/5/12		
インド・ルピー	2.87	1.93	1.84	▲ 35.89%	▲ 4.66%
インドネシア・ルピア	1.24	0.98	0.96	▲ 22.58%	▲ 2.04%
マレーシア・リンギット	33.10	27.87	27.10	▲ 18.13%	▲ 2.76%
ハンガリー・フォリント	61.56	45.88	43.53	▲ 29.29%	▲ 5.12%
ポーランド・ズロチ	41.32	30.61	29.46	▲ 28.70%	▲ 3.76%
ロシア・ルーブル	4.51	3.01	2.92	▲ 35.25%	▲ 2.99%
トルコ・リラ	87.78	55.52	51.21	▲ 41.66%	▲ 7.76%
ブラジル・レアル	58.88	53.35	50.17	▲ 14.79%	▲ 5.96%
メキシコ・ペソ	10.47	7.18	6.95	▲ 33.62%	▲ 3.20%
南アフリカ・ランド	16.18	12.60	11.81	▲ 27.01%	▲ 6.27%

左記の表の為替レートは対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値です。インドネシア・ルピア、ハンガリー・フォリントに関しては、100倍して表示しています。

(出所: 投資信託協会データより岡三アセットマネジメント作成)

新興国国債オープン(毎月決算型)(愛称 アトラス(毎月決算型))

追加型投信 / 海外 / 債券

ファンドマネージャーのコメント

第44期(2011年4月13日~2011年5月12日)

< 投資環境 >

新興国の国債市場は、米国の景気減速懸念やユーロ圏周辺国の財政問題に対する懸念を背景に先進国の債券利回りが低下する中、全般的に狭いレンジ内での揉み合い局面が続きました。当期間においては、インドが0.5%、ブラジル、ロシア、マレーシア、ポーランドがそれぞれ0.25%の追加利上げを実施しました。ただ、各市場の反応は、インドとロシアの国債利回りが上昇する一方、ブラジルの国債利回りが低下するなど、まちまちなものとなりました。当ファンドの参考指数(運用実績を評価するためのベンチマークではありません)であるJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースィファイド指数の平均利回りは6.74%で変わらず、当期間中の現地通貨ベースの参考指数のリターン(債券要因)は+0.72%となりました。当ファンドが現在投資を行っている国のリターンを見ると、メキシコ+1.88%、ブラジル+1.71%など8カ国がプラスとなる一方、インド 0.89%、ロシア 0.01%など2カ国がマイナスとなりました。

為替市場においては、4月上旬までの急速な円安に対する反動や米国の景気減速懸念を背景に、対ドル中心に全般的に円買いが優勢となる中、新興国通貨も対円で軟調なスタートとなりました。その後も、ドル/円はじり安の展開が続いたものの、新興国通貨は対ドルで堅調に推移し、対円では底堅い動きとなりました。しかし、5月に入ると、商品市況の急落をきっかけに投資家のリスク回避志向が強まり、新興国通貨が対円で全面安となりました。当期間中の参考指数の為替要因は 4.51%となりました。当ファンドが現在投資を行っている通貨の当期間中の対円での評価レートは、トルコリラ 7.76%、南アフリカ・ランド 6.27%など10通貨すべてがマイナスとなりました。

< 運用経過 >

当ファンドは、「新興国国債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて実質的な運用を行っています。当期間中の同ファンドへの投資比率は概ね99%台で推移させました。5月12日時点での投資比率は99.4%となりました。

「新興国国債マザーファンド(以下、マザーファンド)」の運用経過は以下の通りです。

当ファンドは、投資にあたって、JPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースィファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、GDP、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しております。当期末時点での投資国数は10カ国、投資通貨数は10通貨(日本円は除く)となっています。なお、インド、ロシアに関しては、クレジット・リンク・ノート(CLN)を通じて投資を行っています。

クレジット・リンク・ノート(CLN)は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券で、発行体は信用格付業者等から原則としてA格以上の格付けを有している金融機関です。クレジット・リンク・ノート(CLN)は、ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて分類を行っています。

当期間中の債券組入比率に関しては、91.9%~95.2%の範囲内で推移させました。4月上旬までの急速な円安に対する反動が懸念されたものの、新興国通貨の対円での下落余地は限定的と判断したことや、新興国の国債市場は全般的に落ち着いた推移が見込まれたことから、新興国の国債及び通貨を高位に維持するスタンスを継続しました。ただ、ベビーファンドからの解約が続いたため、ポートフォリオのバランスに留意しつつ、保有債券の売却を進めました。

この結果、前期末と比較した組入比率の主な変化は、新興国国債全体が 1.1%、ポーランド国債が 1.3%となりました。当期末時点でのマザーファンド全体の債券組入比率は93.7%、外貨の組入比率は95.2%、組入銘柄数は26銘柄、保有債券の平均最終利回りは6.88%、保有債券の平均直接利回りは10.10%、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションはファンド全体で1.70年となりました。

このような運用の結果、6,483円でスタートした当ファンドの基準価額は6,194円(分配金40円落ち後)で第44期を終了しました。当作成期間中の当ファンドの騰落率(分配金込み)は 3.84%となりました。なお、第44期の収益分配金に関しては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、主に配当等収益等から1万口当たり40円(税引前)とさせていただきます。

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信 / 海外 / 債券

ファンドマネージャーのコメント

< 今後の運用方針 >

新興国においては、世界経済の回復と商品市況の高騰を背景に、インフレ圧力の高まりが懸念される状況が続いていましたが、5月に入り商品市況全般が急落したことや、これまでの金融引き締め効果が一部に見え始めてきたことから、今後の金融引き締めのペースは徐々に鈍化していく可能性があると考えています。このため、新興国の国債利回りは、引き続き上昇圧力が残るものの、インフレ指標が落ち着きを見せ始めた国を中心に、利回りが小幅低下に向かう局面もあると判断しています。また、ユーロ圏周辺国の財政問題は、現状では新興国の国債市場に大きな影響を与えておらず、当面、信用不安に伴う新興国国債の利回り上昇（価格下落）の可能性は低いと考えています。

為替市場においては、5月に入ってから商品市況の急落をきっかけに、足元では投資家のリスク回避志向が強まっており、短期的に新興国通貨が対円で下落余地を試す場面があると見ています。ただ、東日本大震災を受けて、日銀の金融緩和スタンスが強化されるとともに、今後もその長期化が想定されることに加え、日本政府は東北地方の経済および日本経済を復興するため、巨額な財政出動を含むインフレ的な経済政策を採らざるを得ないと考えており、これまでのデフレ下における円高基調は大きな転換点、つまり長期的な円安局面への移行期を迎えつつあると判断しています。このため、商品市況を始め、金融市場全般が落ち着きを取り戻すのに伴い、新興国通貨の対円での堅調地合いが再開されると見ています。

以上を踏まえ、短期的には新興国通貨の対円での下値不安が残る状況を想定し、当面はやや慎重なスタンスで臨む方針です。ただ、新興国の国債市場は引き続き落ち着いているため、新興国国債の組入比率は高位で維持しつつ、投資対象通貨の一部で為替ヘッジ（対円でのヘッジ売り）を行うことにより、ファンドの為替変動リスク軽減を図る考えです。しかし、新興国通貨の対円での下落局面が長期化する可能性は低いと判断しており、投資環境の改善を見極めつつ、新興国通貨の実質組入比率を高位に戻す方針です。

引き続き、金融市場全般や商品市況の動向、投資家のリスク志向の変化、投資対象国の経済成長見通し、各中央銀行の金融政策スタンス、インフレ率や実質金利、ユーロ圏周辺国の財政問題等に留意し、相場動向に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針です。

なお、上記の運用方針は、あくまで現在の投資環境の下で想定したものであり、投資環境に大きな変化があった場合は、運用方針を変更することがありますのでご了承ください。

今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信 / 海外 / 債券

ファンド情報

設定日	2007年8月30日
償還日	原則として無期限
決算日	毎月12日(休業日の場合は翌営業日)

ファンドの特色

- 新興国国債マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等(以下、「新興国の国債等」といいます。)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。(マザーファンドの受益証券への投資を通じて、マザーファンドの投資態度と実質的に同一の投資態度で運用を行います。以下、同じ。)
- 投資にあたっては、JPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、利回り水準や流動性等を考慮して選定した新興国の国債等に、ポートフォリオの70%程度を投資します。(ステップ)次に、ポートフォリオの30%程度を、GDP、経常収支、外貨準備高等から総合的に判断して、ファンダメンタルズが良好であり、あるいはファンダメンタルズの改善が見込めることなどから、通貨価値の上昇が見込まれる新興国の国債等に投資します。なお、この場合に、ステップ で投資した新興国の国債等に重複して投資する場合があります。(ステップ)
- 1か国の新興国の国債等への投資上限は投資信託財産の純資産総額の15%程度とします。
- 新興国の国債等の実質組入比率は高位に保つことを基本としますが、市況動向によっては弾力的に組入れを引き下げることがあります。投資環境の変化へ対応するため、先進国の国債(日本、米国、ドイツ等)に投資する場合があります。ただし、先進国の国債の実質組入比率は、原則として投資信託財産の純資産総額の50%未満とします。
- 米国の運用会社であるインターナショナル・ストラテジー・アンド・インベストメント・インク(ISI社)から投資助言を受け運用を行います。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
- 毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として収益分配方針に基づき、収益分配を行います。
 - 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
 - 収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益(評価益を含みます。)等が存在するときは、配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

投資リスク(1)

< 基準価額の変動要因 >

当ファンドは、主に新興国の国債等を実質的な投資対象としますので、組入れた新興国の国債等の価格の下落、発行国等の破綻や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信 / 海外 / 債券

投資リスク(2)

主な変動要因

- ・金利変動リスク
金利は、経済環境や物価動向、中央銀行の金融政策、政府の経済政策等を反映して変動します。金利が上昇した場合には債券の価格は下落し、金利が低下した場合には債券の価格は上昇します。
- ・為替変動リスク
外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。
- ・カントリーリスク
外国の外貨不足などの経済的要因、外国政府の資産凍結などの政治的理由、外国の社会情勢の混乱等の影響を受けることがあります。

その他の変動要因

信用リスク、流動性リスク

基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

< その他の留意点 >

- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

お申込みメモ

購入単位	「分配金受取りコース」 1万口以上1万口単位 または1万円以上1円単位 「分配金再投資コース」 1万円以上1円単位 販売会社が別に定める購入単位がある場合は、当該購入単位とします。取扱いコース・購入単位は、販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にご確認下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払い下さい。 詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までとし、販売会社所定の事務手続きが完了した場合に、当日の受付として取扱います。
換金制限	ありません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。投資信託は預金等と異なり、預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入された投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信 / 海外 / 債券

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料 購入金額（購入価額×購入口数）に、販売会社が独自に定める購入時手数料率を乗じて得た額
有価証券届出書提出日現在の購入時手数料率の上限は、3.675%（税抜3.50%）です。購入時手数料率は変更となる場合があります。
新興国国債オープン（1年決算型）からのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、申込手数料の一部又は全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認下さい。

信託財産留保額 1口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） 純資産総額×年1.365%（税抜1.30%）

（委託会社）	年0.651%（税抜0.62%）
（販売会社）	年0.630%（税抜0.60%）
（受託会社）	年0.084%（税抜0.08%）

その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年0.0126%（税抜0.012%）

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。また、マザーファンドを通じて投資する新興国の国債等の利息等は、現地において課税される場合があります。

運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額を示すことはできません。

運用管理費用（信託報酬）、監査費用は毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料（監査費用を除きます。）はその都度、投資信託財産から支払われます。当ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

委託会社および関係法人の概況

委託会社 岡三アセットマネジメント株式会社
（投資信託財産の運用指図、投資信託財産の計算（基準価額の計算）、収益分配金、償還金及び解約金の支払い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）および運用報告書の作成・交付等を行います。）
岡三アセットマネジメント株式会社は金融商品取引業者です。
登録番号：関東財務局長（金商）第370号
加入協会：（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
（投資信託財産の保管・管理・計算、委託会社の指図に基づく投資信託財産の処分等を行います。）

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信 / 海外 / 債券

販売会社について(1)

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

以下は、金融商品取引業者です。

商号	登録番号	加入協会
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	日本証券業協会
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	日本証券業協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会
岩井証券株式会社	近畿財務局長(金商)第335号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
白木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	日本証券業協会
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	日本証券業協会
かざか証券株式会社	関東財務局長(金商)第58号	日本証券業協会
金山証券株式会社	関東財務局長(金商)第60号	日本証券業協会
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	日本証券業協会
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	日本証券業協会
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	日本証券業協会
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	日本証券業協会
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	日本証券業協会
内藤証券株式会社	近畿財務局長(金商)第24号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	日本証券業協会
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	日本証券業協会
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	日本証券業協会
ひびき証券株式会社	近畿財務局長(金商)第32号	日本証券業協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
丸福証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	日本証券業協会
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	日本証券業協会
山和証券株式会社	関東財務局長(金商)第190号	日本証券業協会
八幡証券株式会社	中国財務局長(金商)第7号	日本証券業協会
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
相生証券株式会社	近畿財務局長(金商)第1号	日本証券業協会
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	日本証券業協会
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	日本証券業協会
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	日本証券業協会
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	日本証券業協会
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	日本証券業協会

新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信 / 海外 / 債券

販売会社について(2)

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

以下は、登録金融機関です。

商号	登録番号	加入協会
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	日本証券業協会
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
楽天銀行株式会社	関東財務局長(登金)第609号	日本証券業協会 社団法人 金融先物取引業協会

ご注意

- ・本資料は岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。投資信託説明書(交付目論見書)の交付場所につきましては「販売会社について」でご確認ください。
- ・本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料、信託財産留保額等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- ・本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。